

| | | | |
|---------|---|------|------------------|
| 授業科目名 | ダンスワークショップ実習D | 担当教員 | 深澤 南土実 岡元 ひかる |
| 必修の区分 | 選択 | | |
| 単位数 | 2単位 | | |
| 授業の方法 | 実習 | | |
| 開講年次 | 2年 第4クォーター | | |
| 講義内容 | この授業の目的は、ダンスの創作的ワークショップを通じて、クリエイションの意識ないし技能を会得することにある。授業の内容は、担当教員と外部講師が考え、創作しながらそのことを学ぶものである | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. クリエーションの意識ないし技能を多角的な視点で会得する 2. 担当教員や外部講師、他の参加者たちとコミュニケーションを取り、限られた時間を生産的に過ごして、創作を形にすることができる 3. 創作体験を内省し、創作の核心や体験の核を、他者に伝わる言葉やイメージで書き残すことができる | | |
| 授業計画 | <p>担当教員が振付家・ダンサーの外部講師とともにダンスのテクニックワーク、振付やクリエイションを行い、他の参加者らとともに議論を通じてダンスを創作する。</p> <p>*この授業は6日間の集中講義（1日約8時間程度）となります</p> <p>事前：創作に関する調査や研究（リサーチ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション、テクニックワーク 2. 振付技法・方法論の習得に向けたワーク 3. クリエーションに向けての意識づけ、感覚やイメージの共有 4. クリエーションの稽古、意見交換と調整 5. ディスカッション、フィードバックと再調整 6. 全体の講評を含むフィードバックと意見交換 <p>事後：レポートの作成（授業内提出）</p> | | |
| 事前・事後学習 | 通常の12週講義で週2時間程度の事前・事後学習を念頭においています | | |
| テキスト | 特に指定しません | | |
| 参考文献 | 授業内に適宜紹介します | | |
| 成績評価の基準 | <p>リサーチ 10%：好奇心、探究心、調査深度</p> <p>平常点 70%：感受性、創発性、理解深度、意欲（到達目標の1,2から判定</p> | | |

| | |
|----------------|---|
| | する) |
| 履修上の注意 履修要件 | 「ダンスワークショップ実習 (A~C)」を履修していることが望ましい。この授業はダンスワークショップ実習最後のもの (D) であることから、ダンスに特化したテクニックワークやクリエーションを試みます。 全日程の参加を原則とします。 |
| 実践的教育 | 芸術文化分野の実務経験を持つ教員がその実務経験を生かして教授することから、実践的教育に該当する。 |
| 備考欄 | 実習のより詳しい内容は説明資料を確認してください。 他の参加者との身体的接触を伴う場合があります。 外部講師と相談の上、教育の質の保証ならびに授業の運営（安全）確保の観点から受講者の上限を決める場合があります。その場合は、志望理由等による選考を行います。 |